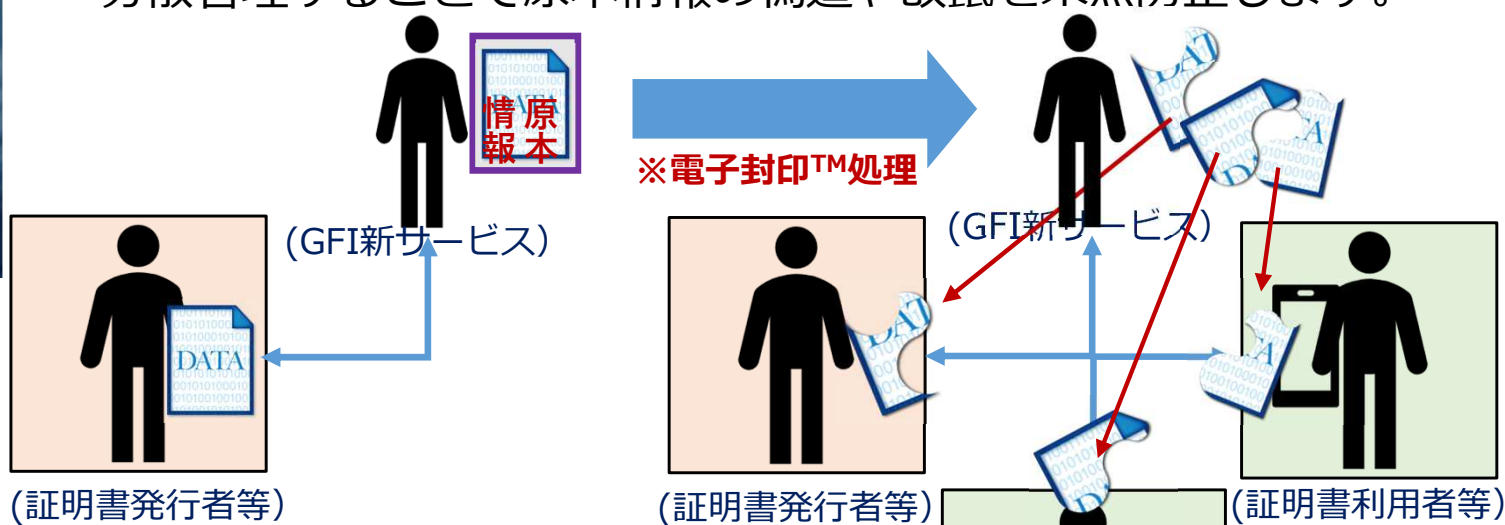


割符で保証書や検査証等の原本性や同一性保証

情報資産の根本的信頼性を担保する「電子封印™」サービスです！

(封印処理はGFIのサーバで実施し復元利用はユーザ環境が基本)

GFI割符DB™は電子情報を特殊なファイル形式にして割符化(※)し、分散管理することで原本情報の偽造や改竄を未然防止します。



動画やチケットへの応用含め、関係当事者等でGFIの割符を持ち合えば、勝手な原本情報への改竄や差替え偽造は無理だ

- 1つの封印料は登録封印時のみ
- 特別な指定封印送付はオプション
- GFIの標準封印預かり期間は25日間

- 長期封印預かりやログ報告開示条件設定や時期指定、はオプション

原本情報の確認(復元)は、とても簡単



原本情報を確認したい場合、GFIサイトの原本情報開示サービスに割符を送付すれば、原本情報が復元表示され、いつでも手軽に確認できます。

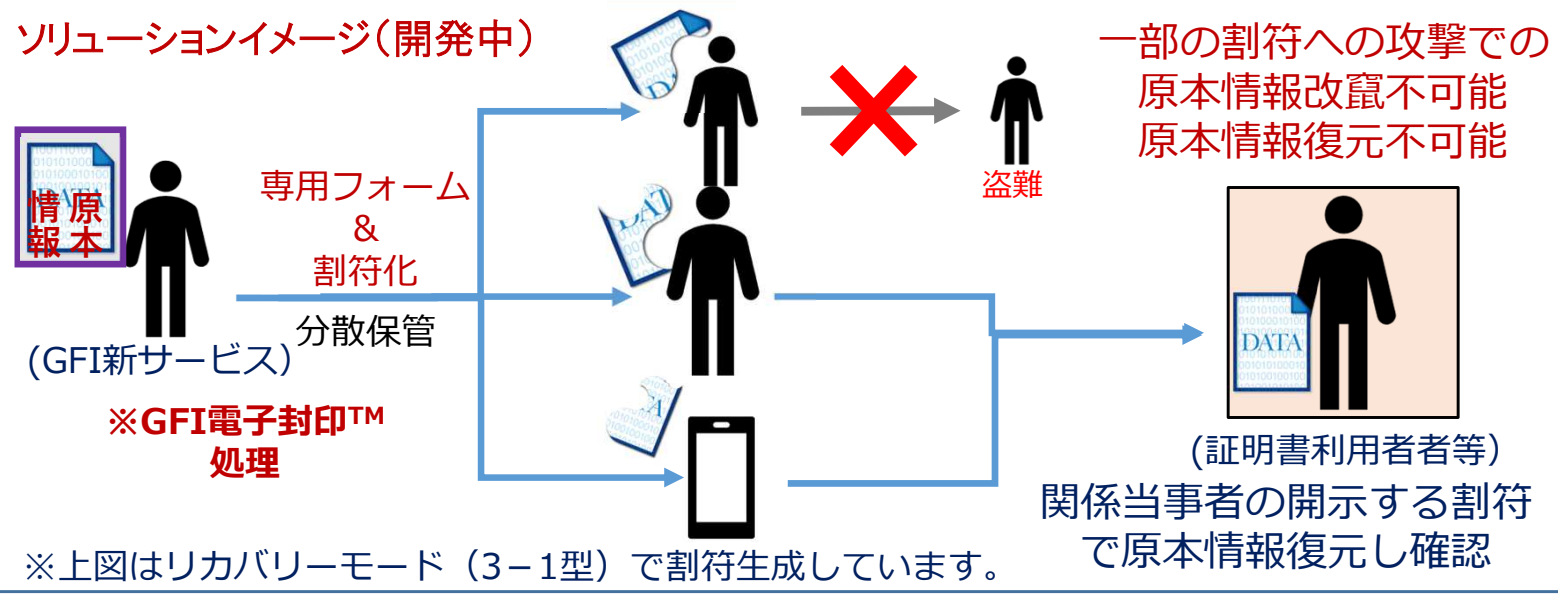
注：確認者IT環境で情報復元処理するには専用アプリのDL等でのプログラム入手と有効化が必要です。

- 原本情報は、ZIP化や暗号化されていてもご利用可能です。
- 割符をシェアして管理すると相互牽制効果も期待できます。

GFI電子封印™はGFI電子割符®を使用

GFI電子封印™は一連の処理を行うGFI割符DB™によってサービス提供されます

GFI電子割符®は代表的秘密分散技術であり、ビットレベルで情報を分割する弊社技術はデジタル情報の原理的構造自体に直接作用します。原本情報を母集合とすれば、各割符は単なる0と1の部分集合となります。



産業技術総合研究所報告書。
GFI電子割符®の安全性評ついて
縫田光司 2015年11月03日

例えば、攻撃者が3個ある割符ファイルのうち一つのみを入手した状態で元データを完全に復元できる可能性について、およそ10の105,000乗通りの場合の数から正解を言い当てるのと同程度に困難であるとの見積もりを得ている。(中略)現時点での安全性評価で得られる内容に限るならば、十分な**情報理論的安全性**を持っていると考えられるレベルにある(中略)当該技術の安全性はこうした**技術標準化の検討に値する水準**にあるものと期待できると考える。

参考:
「産総研様との共同研究の第二期結果概要報告」
http://www.gfi.co.jp/01news20151226_393.html

GFI電子割符®の基本機能(抜粋)

①通常モード
・原本復元には生成した**全ての割符が必要**です。

②リカバリーモード
・一部の割符が消滅しても残りの割符から減温情報復元します。(例えば3つのうちの2つ)

注：引用の外部評価等は、GFI電子割符®技術アルゴリズムを前提としたもの

推奨環境:対象OS Windows 10(64bit版) 推奨スペック CPU 3.0GHz以上
メモリ 8GB以上 ハードディスク空き容量 50GB以上

留意事項:開発中であり今後予告なく本資料記載内容は修正される可能性があります。

GFIは開発中スマホ割符の国内外モニターやビジネスパートナーを募集中

商品企画・商品供給元: **グローバルフレンドシップ株式会社**
東京都渋谷区笹塚1-32-2ソネット笹塚102
Email: info@gfi.co.jp

営業代理店:
住所 連絡先

©本資料記載事項は予告なく修正変更されることがありますので、最新情報は供給元等までお問い合わせください。